

年 組 名前：

夏休みの子に「クール食堂」



「夏休みこどもの居場所クール食堂」を訪れた子どもたち
＝富士吉田子育支援センター

富士吉田市暑さ、物価高対策で開設

富士吉田市は、子育て支援センターで、夏休み期間中の子どもたちを対象に、涼むことや昼食を食べることができる「夏休みこどもの居場所クール食堂」を設けた。厳しい暑さから子どもを守ることも、安価で弁当を提供することで、物価高騰に苦しむ家庭への支援にもつなげる。高校生のボランティアが宿題をサポートし、子育て分野の専門職スタッフが保護者の悩み相談にも応じる。

（小林 諒）

宿題支援、親の悩み相談も

クール食堂はセンターの3階に開設。対象は市内在住の18歳までの子ども。エアコンが効いた涼しい部屋の中で、卓球やトランプ、読書などを楽しむことができる。希望者には1食300円で弁当を提供する。市内の高校生ボランティアが宿題にアドバイスするほか、市職員の保育士や看護師、社会福祉士らが子どもたちの様子を見守り、保護者が家庭での悩みを相談することもできる。

市は2024年から夏休み期間中、放課後児童クラブ（学童保育）の利用者を対象に、昼食用の弁当を提供している。25年は利用者の約6割が弁当を希望したことから、市は高いニーズがあると判断。学童保育の対象でない家庭も含めて子どもの健康管理につなげ、金銭的負担も軽減しようと、国の補助金を使ってクール食堂を開設した。

開設初日の23日には約40人の子どもたちが来場。小学2年生の子どもと訪れた主婦（42）は「自宅エアコンをずっとつけていると電気代が高くなる。安くて栄養価の高い弁当も届けてくれてありがたい」と喜んだ。

クール食堂の開設は8月27日まで（土日祝日と8月13、14の両日を除く）。午前8時半～午後6時（小学生は午後5時まで）。弁当は1日30食限定で先着順。無料通信アプリ「LINE（ライン）」の市の公式アカウントから受け付けている。

（2026年7月26日付 山梨日日新聞 16面）

問1

富士吉田市が、「夏休みこどもの居場所クール食堂」を設けた理由を教えてください。

.....

.....

問2

「夏休みこどもの居場所クール食堂」では、弁当以外に、何をして楽しむことができますか。

.....

問3

弁当の提供について、昨年も実施していましたが、今年からはどのような変更をしましたか。

.....